

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和4年3月31日

計画の名称	茨城栃木交流圏域における観光振興による広域的地域活性化													
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）					交付対象	栃木県							
計画の目標・広域的特定活動														
<p>茨城県県北・県西地域と栃木県県東・県南地域においては、豊かな自然や多様な観光地が数多く分布している一方で、人口減少や少子高齢化が顕著で、地域の活力が減少しているところである。このため、観光バスなどの大型車のすれ違いが困難な幅員狭小箇所や見通しの悪い箇所の道路整備を実施し、茨城・栃木両県境に広がる観光圏域へのアクセス性を高めることにより、当地域の広域的な観光振興を促進させ、地域の活性化を図る。</p>														
計画の成果目標（定量的指標）														
<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城栃木交流圏域内の拠点施設の観光客数を777万人（H26）から836万人に増加させる。</li> <li>栃木県内の拠点施設の観光客数を355万人（H26）から377万人に増加させる。</li> </ul>														
定量的指標の定義及び算定式														
										定量的指標の現況値及び目標値		備考		
										当初現況値	中間目標値		最終目標値	
										(H26)	(H28末)		(H30末)	
①	計画地区内の観光総客数 茨城栃木交流圏域内の拠点施設の観光客総計										777万人	806万人 (3.7%増)	836万人 (7.6%増)	
②	栃木県交流圏域内の拠点施設の観光客総計										355万人	366万人 (3.0%増)	377万人 (6.1%増)	
全体事業費	合計 (A+B+C)	3,240百万円	A	3,220百万円	B	0百万円	C	20百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)		0.6%	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期											
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期					
						令和4年3月					
事業実施主体（栃木県県土整備部道路整備課）にて評価を実施						公表の方法					
						県HPによる公表					

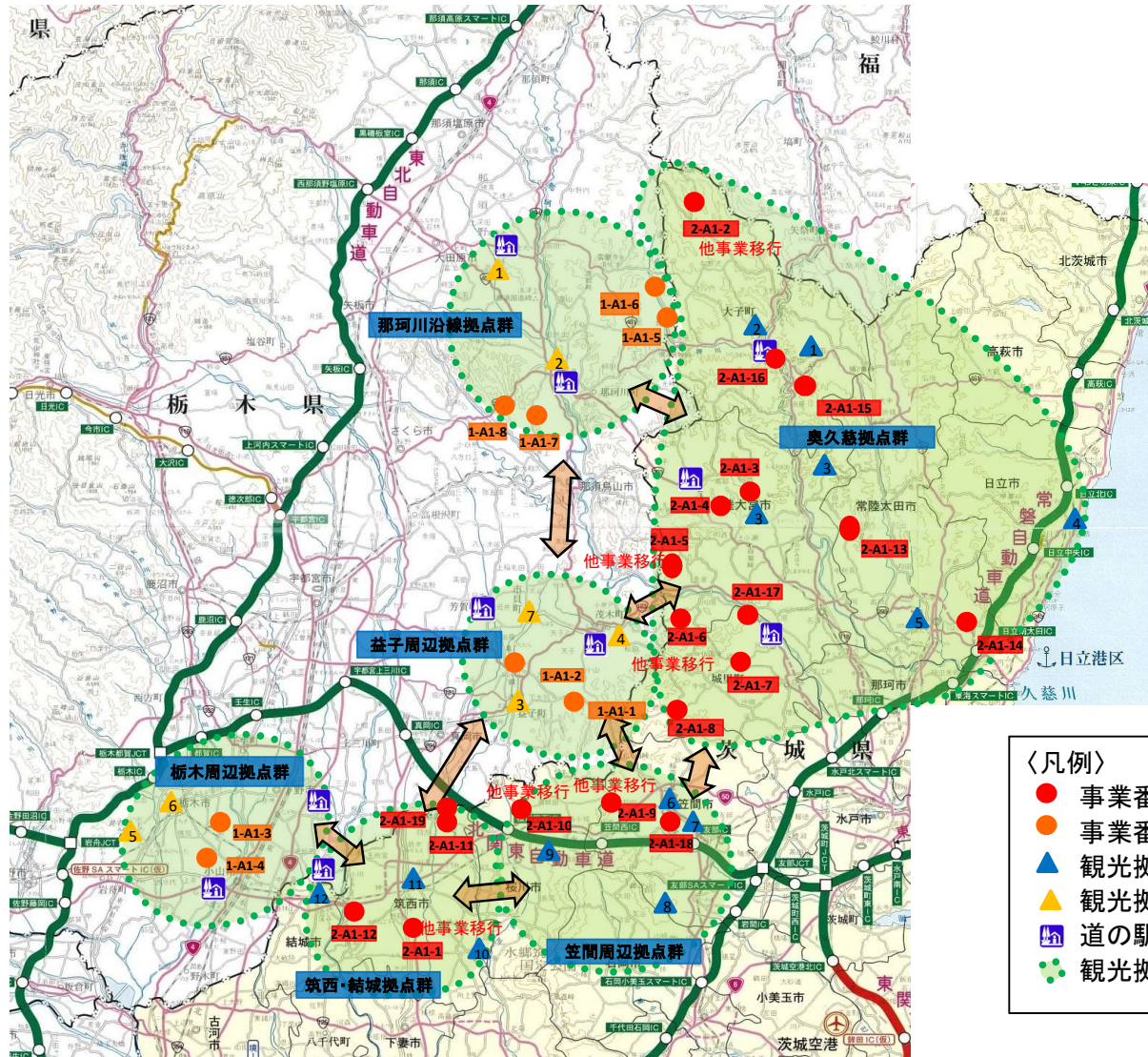
1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業												全体事業費 (百万円)	備考				
A1 広域連携事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						
											H26	H27	H28	H29	H30		
A11-001	道路	一般	栃木県	直接	栃木県	都道府県道	改築	(主) 宇都宮笠間線(益子町鏡石)	現道拡幅 L=0.9km	益子町						420	H30年度完了
A11-002	道路	一般	栃木県	直接	栃木県	都道府県道	改築	(一) 黒田市塙真岡線(益子町七井)	現道拡幅 L=1.0km	益子町						370	一部完了
A11-003	道路	一般	栃木県	直接	栃木県	都道府県道	改築	(一) 小山都賀線(小山市小葉)	現道拡幅 L=1.8km	小山市						300	一部完了
A11-004	道路	一般	栃木県	直接	栃木県	都道府県道	改築	(一) 小山大平線(小山市今里)	現道拡幅 L=1.1km	小山市						450	一部完了
A11-005	道路	一般	栃木県	直接	栃木県	都道府県道	改築	(主) 大子黒羽線(大田原市須賀川市場)	現道拡幅 L=1.0km	大田原市						300	一部完了
A11-006	道路	一般	栃木県	直接	栃木県	都道府県道	改築	(主) 大子黒羽線(大田原市宿)	現道拡幅 L=0.6km	大田原市						230	一部完了
A11-007	道路	一般	栃木県	直接	栃木県	都道府県道	改築	(一) 小川大金停車場線(那須烏山市志鳥)	バイパス L=0.8km	那須烏山市						111	H29年度完了
A11-008	道路	一般	栃木県	直接	栃木県	国道	改築	(国) 293号(那須烏山市上川井)	現道拡幅 L=1.5km	那須烏山市						500	一部完了
A11-009	道路	一般	栃木県	直接	栃木県	都道府県道	改築	(主) つくば益子線(益子町長堤)	バイパス L=1.5km	益子町						359	一部完了
A11-010	道路	一般	栃木県	直接	栃木県	都道府県道	改築	(一) 黒田市塙真岡線(市貝町多田羅)	現道拡幅 L=0.3km	市貝町						180	一部完了
											小計（広域連携事業）					3,220	

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H26	H27	H28	H29	H30			
ー																	
										合計		0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H26	H27	H28	H29	H30			
C11-001	提案	一般	栃木県	直接	栃木県	-	広域周遊観光ルート検討調査	交通量調査	県東・県南地域							10	
C11-002	提案	一般	栃木県	直接	栃木県	-	広域周遊観光ルートプロモーション	リーフレット等作成	県東・県南地域							10	
										合計		20					
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H26	H27	H28	H29	H30				
ー																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																	
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況				<p>(主) 宇都宮笠間線 (A11-001) や (一) 小川大金停車場線 (A11-007) の整備が完了したことや、その他事業箇所の整備が一部完了したことで、観光拠点施設へのアクセス性が向上し、観光入込客数の増加に寄与したと考えられる。          要素事業：A11-001 (主) 宇都宮笠間線 (益子町鑽石)          ⇒ 拠点施設：益子焼共販センター 整備効果：一日あたり当該区間を利用する車両の総移動時間が約28時間短縮          A11-007 (一) 小川大金停車場線 (那須烏山市志鳥)          ⇒ 拠点施設：なかがわ水遊園 整備効果：一日あたり当該区間を利用する車両の総移動時間が約4時間短縮</p>													
II 定量的指標の達成状況				指標① (茨城栃木交流圏内の拠点施設の観光客数総計)		最終目標値	836万人 (7.6%増)	目標値と実績値に差が出た要因		<p>栃木県において、平成28年に「鳥山の山あげ行事」のユネスコ無形文化遺産登録と道の駅「ましこ」がオープンしたことや、茨城県においても、平成28年に常陸大宮市常陸太田市で相次いで道の駅がオープンしたことで、栃木県北・県東及び茨城県北の観光客増加につながったものと考えられる。          併せて平成30年に栃木県においてDC (デスティネーションキャンペーンの略称、以下、DCという) が実施されたことによる相乗効果で観光客が増加したものと考えられる。</p>							
				最終実績値	914万人 (17.6%増)												
				指標② (栃木交流圏内の拠点施設の観光客数総計)		最終目標値	377万人 (6.1%増)	目標値と実績値に差が出た要因									
				最終実績値	453万人 (27.6%増)												
III 定量的指標以外の交付対象の効果の発現状況 (必要に応じて記載)																	
3. 特記事項 (今後の方針等)																	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・未完成の事業箇所については、引き続き社会資本整備総合交付金等を活用して計画的に事業を執行し、更なる周遊観光の活性化と共に観光客の増加を図りたい。</li> <li>・効果促進事業においては、計画期間内に未完成の事業が複数あったことから、観光ルートの検討調査等が実施できなかった。今後も茨城県との連携体制を継続していき、広域周遊観光ルートを形成していく。</li> </ul>																	

(参考様式3) 参考図面 (社会資本総合整備計画 広域連携事業)

計画の名称	茨城栃木交流圏域における観光振興による広域的地域活性化	交付対象	栃木県 (茨城県と連携)
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)		



拠点施設 栃木県

1	道の駅那須与一の郷
2	ながわ水遊園
3	益子焼共販センター
4	ツインリンクもてぎ
5	大平山神社
6	とちぎ蔵の街観光館
7	道の駅サシバの里いちかい

拠点施設 茨城県

1	袋田の滝観瀑施設
2	大子広域公園
3	常陸大宮温泉施設
4	かみね公園
5	西山荘
6	笠間稲荷神社
7	笠間工芸の丘
8	あたご天狗の森公園
9	雨引観音
10	宮山ふるさとふれあい公園
11	しもだて美術館
12	つむぎの館

〈凡例〉

- 事業番号 (茨城県)
- 事業番号 (栃木県)
- ▲ 観光拠点 (茨城県)
- ▲ 観光拠点 (栃木県)
- 🏠 道の駅
- 観光拠点群